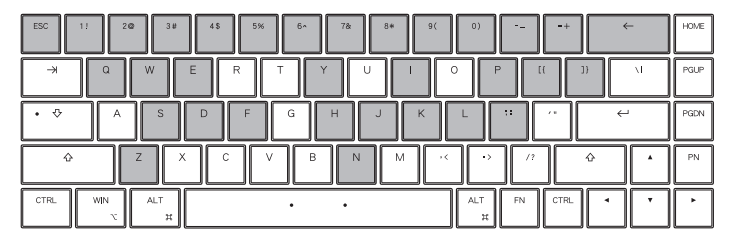


FN キーとの同時押し操作によるキー入力機能



FN + 1! ~ =+ = F1 ~ F12

FN + ESC = ` (バッククオート)
Shift + FN + ESC = ~ (チルダ)

FN + Q = 前のトラックに戻る
FN + W = 再生 / 一時停止
FN + E = 次のトラックに進む

FN + S = 音量を下げる
FN + D = 音量を上げる
FN + F = 音量ミュート

FN + Z = APP / Menu
(アプリケーション / メニュー)

FN + Y = 電卓アプリ起動
FN + H = Home
FN + N = End

FN + P = PrintScreen (PrtSc)
FN + [{ = Scroll Lock
FN +]} = Pause

FN + ; : = Insert
FN + Backspace = Delete

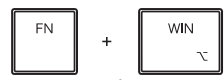
FN + I = ↑ (矢印上)
FN + J = ← (矢印左)
FN + K = ↓ (矢印下)
FN + L = → (矢印右)

Windows キーロック機能

■ 左 Windows キーロック

左 Windows キーのロック ON/OFF が可能です
初期状態はロックはかかっていません

【キー操作】
FN + 左 Windows キーを 2 秒ほど長押し
→ LED2 が白で 1 回点滅します



左 Windows キー
※元に戻す際も同じ操作

マクロプログラミングエディットモードと設定方法 (続き)

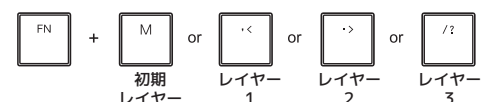
■ FN および PN キーのリマップ機能と設定方法

FN および PN キーを任意の移動 (リマップ) することができます。

移動後、元々の FN キー位置は APP/Menu キー、 元々の PN キー位置は End キーとして動作します。また、左 Shift キー位置と右 CTRL キー位置をリマップ先に指定することは、仕様上できません。

ステップ 1. マクロプログラミングするレイヤー を選択します

初期レイヤーはマクロプログラミングできません
レイヤー 1 ～ 3 のみマクロプログラミングが可能です
※設定の前にすべての DIP スイッチが OFF であることを確認してください



・初期レイヤー … FN + M を押して離す → LED2 は消灯した状態
※初期レイヤーはマクロプログラミンングできません
・レイヤー 1 … FN + , < を押して離す → LED2 が赤で点灯します
・レイヤー 2 … FN + . > を押して離す → LED2 が緑で点灯します
・レイヤー 3 … FN + /? を押して離す → LED2 が青で点灯します

ステップ 2. (移動する) FN もしくは PN + 左 Shift を長押しします
→ LED2 が白で点灯したらキーを離す
→ LED3 が白で点灯し、現在の FN もしくは PN キー位置のバックライトが青で点灯します

ステップ 3. (移動する) FN もしくは PN キーのどちらかを押します
→ 移動可能なキー位置のバックライトが青で点灯します

ステップ 4. FN もしくは PN を移動 (リマップ) したいキー位置を押します
→ 設定が終わると、LED の点灯が設定モードに入る前の状態に戻ります

注意

1 : FN や PN ポジションを変更し、割り当てた位置を忘れてしまった場合は、FN + R で (FN キーは元々の位置) を使って、レイヤーリセットをしてください。ただし、選択中レイヤー内のすべてのマクロ設定もリセットされます。

2 : FN や PN のポジション変更が可能なキーには制限があります。
左 Shift キー位置と右 CTRL キー位置へのリマップできません。

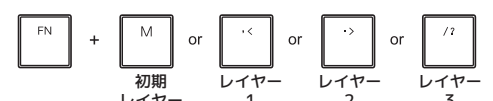
3 : FN、PN キーは、同じレイヤー内に 1 箇所のみ設けることができます。

マクロプログラミングエディットモードと設定方法

マクロプログラミングは、下記の手順で設定します。

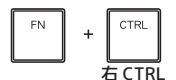
ステップ 1. マクロプログラミングするレイヤー を選択します

初期レイヤーはマクロプログラミングできません
レイヤー 1 ～ 3 のみマクロプログラミングが可能です
※設定の前にすべての DIP スイッチが OFF であることを確認してください




・初期レイヤー … FN + M を押して離す → LED2 が消灯した状態
※初期レイヤーはマクロプログラミンングできません。
・レイヤー 1 … FN + , < を押して離す → LED2 が赤で点灯します
・レイヤー 2 … FN + . > を押して離す → LED2 が緑で点灯します
・レイヤー 3 … FN + /? を押して離す → LED2 が青で点灯します

ステップ 2. FN + 右 CTRL を押してプログラミングエディットモードに進みます
→ LED2 が白で点灯します



ステップ 3. マクロをプログラムしたいキーを押します
→ LED2 が白で点滅します

ステップ 4. プログラムしたい内容をタイピングし、最後に PN を一度押します
PN を押すと、マクロプログラム設定が保存 (セーブ) されます
→ LED2 が白で点灯します



ステップ 5. ステップ 3 と 4 を繰り返し、その他のキーにもプログラムします

ステップ 6. FN + 右 CTRL を押し、プログラミングエディットモードから退出します
→ LED2 が消灯します

■ すでにプログラムされているキーに別のプログラムを設定しなおす方法

ステップ 3-4 で、マクロをプログラムしたキーを 2 度押します
→ LED2 が白で点滅しますので、ステップ 4 に進んでください

■ すでにプログラムされているキーに元に戻す方法

ステップ 3-4 で、マクロをプログラムしたキーを 1 度押します
→ LED 2 は白で点滅しますので、PN を一度押して保存 (セーブ) してください

リセットについて

■ 選択中の各レイヤーを初期状態に戻す

FN + R を長押しします
→ LED 2 と LED 3 が同時に、白で 3 回点滅
→ 消灯します
これで、選択中のレイヤーのリセット完了です

■ すべてのレイヤーを初期状態に戻す

ステップ 1. 左 ALT + 右 ALT を長押しします
→ LED 2 と LED 3 が同時に、白で 3 回点滅
→ 消灯します
これで、すべてのレイヤーのリセット完了です

ステップ 2. 完全にリセットするために、キーボードに接続したケーブルをすべて抜き取り、再度差し込みなおしてください

注意

・レイヤーを初期化すると、マクロプログラミング設定と FN/PN のリマップ設定 RGB カスタムモードのデータが全て失われます。

・RGB バックライトは点灯しているのに、キーが動作しないなどの問題が発生し USB ケーブルを抜き差ししても治らない場合は、“ ■すべてのレイヤーを初期状態に戻す ” の操作で改善する場合があります。

ファームウェアの更新

キーボードをより快適に利用できるようにするため、ファームウェア更新プログラムを WEB 上でご提供する場合があります。

更新ファームウェアのファイル形式は exe ファイルのみで、Windows PC からのみ行うことができます。macOS やその他 OS からの更新はできません。Windows PC をご用意頂く必要があります。

メジャーアップデートの場合は、メーカーならび弊社 WEB の FAQ ページで公開、マイナーアップデートの場合は、メーカー WEB ページのみでの提供となります。

【メーカー ファームウェア ダウンロードページ】
<https://mistelkeyboard.com/support>

【アーキサイト 取扱キーボード製品 FAQ ページ】
<https://archisite.co.jp/support/faqkeyboard/>

RGB バックライトの操作方法

・PN + 4\$ = 発光パターンの切り替え
… PN + 4\$ を打鍵する毎に発光パターンの切り替えができます。
無点灯を含めて 11 個の発光パターン (下記表参照) が切り替えが可能です。
1 → 2 → 3 …… → 9 → 10 → 11 → 1 …… の順番で切り替わります。

順番	発光パターン	RGB配色調節	発光/パターン速度調節
1	全点灯単色発光モード	調節可能 (PN+ESCかF6～F8)	調節不可 (固定)
2	Breathingモード		
3	Cycling モード		
4	Waveモード(※初期設定)		
5	Rain dropモード		
6	Reactive モード		
7	Rippleモード		
8	Rotatingモード		
9	Snakeモード		
10	WASD/矢印キー点灯モード		
11	無点灯 (バックライトOFF)		

・PN + ESC = カラーパレット表示
… 各キー毎に割り当てられた、異なるカラーが表示・点灯されます。
“発光パターンの切り替え” の全点灯単色発光モード /Breathing モード、14 ページで説明するカスタムカラー編集モードでのキー配色選択で利用できます。

・PN + 1! = カラー配色調節 (R 赤)
・PN + 2@ = カラー配色調節 (G 緑)
・PN + 3# = カラー配色調節 (B 青)
… 三原色 RGB の明るさを、それぞれ 10 段階で調節できます。
1 回の打鍵で 1 段階明るくなります。

・PN + ↓ = LED 輝度 DOWN / PN + ↑ = LED 輝度 UP
※輝度は 11 段階調節 (消灯含む)。消灯状態では機能しません。

・PN + , < = 発光パターン速度 DOWN / PN + . > = 発光パターン速度 UP
※速度調節は 5 段階。消灯 / 発光パターン固定の場合は機能しません。

・PN + 0 = バックライト OFF

Windows11 キーボードの配列設定変更

キーの印字通りに正しく入力できない場合は、OS 側でキーボードの配列設定変更が必要な場合があります。

例) SHIFT + “2” (テンキーではないほうの “2”) を入力した際、 「 @ 」ではなく 「 ! 」が入力されてしまう
→ 日本語配列キーボードとして認識している

※Windows プラグアンドプレイなどが要因となり、OS 側で勝手にキーボードの配列設定が変更されてしまう場合もございます。その場合は、下記の方法で設定変更を行ってください。

1. 左下の Windows マークを右クリックし、“設定” を立ち上げます。
(もしくは検索窓に、“設定” と入力し、検索結果より “設定” アプリを立ち上げます)
2. 「時刻と言語」をタブ (左クリック) します。
3. 「言語と地域」をタブ (左クリック) します。
4. 「言語」の「日本語」横の “…” アイコンをタブ (左クリック) し、 「言語のオプション」をタブ (左クリック) します。
5. キーボードの「キーボードレイアウト」の「レイアウトを変更する」をタブ (左クリック) します。

【英語配列キーボードを接続してるが、日本語配列キーボードとして認識してる場合】
立ち上がった「ハードウェアキーボードの変更レイアウトの設定」ウィンドウで、「日本語キーボード (106/109 キーボード) 」になっている場合は、プルダウンから「英語キーボード (101/102 キーボード) 」に変更し、“今すぐ再起動する” アイコンをタブ (左クリック) します。

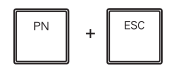
カスタムカラー編集モード操作方法 / 設定手順

- ・PN + 5% = カスタムカラー編集モード (編集後、PN + 5% 再度押して保存)
- ・PN + 6^ = カスタムカラー再生モード
… カスタムカラー編集モードは、各キーに好みの色を設定し、保存するモードです。
10 ページで説明している各レイヤーに 1 種類の点灯設定が保存できます。
カスタムカラー再生モードでは、カスタムカラー編集モードで保存した点灯設定を呼び出せます。

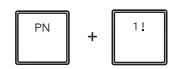
【設定手順】
ステップ 1. マクロプログラミングと同様にレイヤーを選択します。(10 ページ参照)

ステップ 2. PN + 5% を押して、カスタムカラー編集モードを開始します。

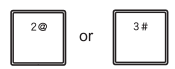
ステップ 3. PN を押しながら 1! ～ 3# を押し、光らせたい色に調節するか、PN + ESC を押しカラーパレット表示して、光らせたい色を選んでください。
※カスタムカラー編集モードの状態では、キー入力はできません。




カラーパレット表示



R (赤)




G (緑)




B (青)

ステップ 4. ステップ 3 で選択した色を使い、光らせたいキーを打鍵・選択していきます。
一度押すと、ステップ 4 で調節・選択した色で光ります。
別の色に変更したい場合は、変更したいキーをもう一度押し、そのキーの LED を消灯状態・リセットするか、ステップ 3 の方法で色を再度選択し、変更したいキーをもう一度押します。

ステップ 5. カスタムカラー編集を終了する際は、再び PN + 5% (保存されます) を押します。
編集モードを終了すると、カスタムカラー再生モードに戻ります。



ステップ 6. 再びカスタムカラー再生モードを選択・再生したい場合は、PN + 6^ を押し、カスタムカラー編集モードで保存した点灯設定を呼び出すことができます。



製品保証書

■ 保証内容について

本保証書は製品が万が一故障した場合、ご購入頂いた日から保証期間内の保証を行うものです。
製品の初期不良はご購入日から1週間とし、初期不良と認められた場合は商品を交換致します。
保証期間内で初期不良と認められない場合は、製品を修理致します。
保証を受ける場合は、本書以外に販売店発行の購入証明書(領収書、レシートなど) も必要です。
本書は日本国内のみで有効です。

■ 無償保証範囲について

無償修理の対象は、下記の条件にすべて当てはまる場合は適用となります。

- 1.販売店でご購入日から1年以内であること
- 2.購入日が確認できる販売店の購入証明書 (レシート、領収書etc…)、パーツや付属品のすべて (USBケーブルetc…) が揃っていること
- 3.日本国内の販売代理店正規ルートからの購入であること
- 4.日本国内で使用していること

※1 但し次の場合は保証対象外 (有償修理) となりますので、ご注意をお願い致します。
・個人で改造されたり不当な修理をされたことに起因する故障または損害
・取り扱いの誤りによる故障の場合 ・天災地変等による故障、損害の場合

下記の場合には、保証対象外となります。

- 1) 保証書及び、販売店、購入年月日の確認ができる購入証明書がない場合は無効となります。
- 2) 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、当社はその責任を負いません。
- 3) 保証期間内でも次のような場合は有償での修理となります。
A) 通常の使用以外の操作で発生した場合の故障または損害
B) 飲みこぼしや食べこぼし、ホコリやごみの内部侵入などに起因する故障または損傷
C) 経年劣化などによる物理破損 や パーツ/部品の換装・付け替えで発生する物理破損 (キーキャップが割れた、外れてなくした、キースイッチピン破損、ケーブル断線など)
D) 改造されたり不当な修理をされたことに起因する故障または損傷
E) お買い上げ後輸送されたことに起因する故障または損傷
F) 地震、風水害その他の不可抗力の事故による損傷
G) 販売店発行の購入証明書(領収書、レシートなど) を提示されない場合
H) オークションやフリマサイトなどを含む中古販売品・個人売良品・未開封品の二次販売等で購入した場合 (※中古品販売店でご購入の場合は、販売店の保証規定に準拠します。購入店舗へお問い合わせください。)
I) 並行輸入品や海外の販売店など、日本国内正規ルート以外でご購入された場合

■ 修理について

- ・修理のご依頼は、弊社サポート窓口へ直接お問い合わせください
- ・修理をご依頼頂く際の送料はお客様の負担となります。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いません。
- ・有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。
- ・修理依頼品の状態によっては、無償・有償にかかわらず修理自体をお断りする場合がございます。

■ 免責事項

- ・本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- ・本製品の故障に起因する差別的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いません。

保証期間	お買い上げ日	年	月	日	より	1年間
製品型番	(※パッケージ貼付のラベル参照)					
■お客様情報						
お名前 (会社名)						
ご住所 〒						
お電話番号						
E メールアドレス						
■ Warranty policy Our service and warranty is only provided domestically in Japan.						